

PBR 向上に向けた対応方針に関するお知らせ

当社は、2023 年 11 月 21 日開催の取締役会において、中長期的な企業価値向上を図るために、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社グループの収益は国政選挙の有無により大きく変動するため、参議院選挙の実施された 2023 年 3 月期の ROE は 6.3% となり、資本コストを上回る実績となっております。然しながら、国政選挙が実施されない場合には、資本コストと同程度の収益性となる場合があります。

一方、前期末時点の PBR は 0.4 倍であり、市場では評価を得られていない状況にあります。

株主還元や当社の成長戦略が投資家の理解を十分に得られていないことが影響しているものと評価しております。

2. 方針

① 収益性の向上

当社グループは、企業価値向上の観点から、収益性の継続的かつ安定的な成長を実現することを目指しております。このため、売上高経常利益率を重要指標と位置付けており、国政選挙など特需の発生しない期にも安定した収益を確保できるよう、当社選挙業務ソフトの自治体情報システム標準化対応などにより、目標として連結売上高経常利益率を 3% 以上とします。

今後も、グループ一体としてのシステム構築力や提案の強化を図る一方、新製品の開発や新規事業の開拓に注力し、収益力の向上と事業領域の拡大に積極的に取り組んでまいります。

② 資本政策

当社は、持続的成長と企業価値向上を実現することを目指し、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるために強固で安定的な財務基盤を維持します。

当社は、経営の重要課題である株主への利益還元については、事業拡大のための内部留保とのバランスを考慮しながら安定的・継続的な配当を行います。

今後の配当につきましては、安定的な配当としての普通配当(2023 年 3 月期 24 円)を 2024 年 3 月期より 30 円といたしました。また、業績の成果に応じた利益還元にも努めてまいります。

③ IR 活動の拡充

ステークホルダーの皆様へ、当社への理解や信頼を高めていただくため、年 2 回の決算説明会を開催する他、機関投資家との 1 on 1 ミーティングを継続的に実施しております。

情報開示をより一層充実させ、当社の活動内容についてご理解いただける機会を増やすための体制を整備し、IR 活動を積極展開してまいります。

以 上